

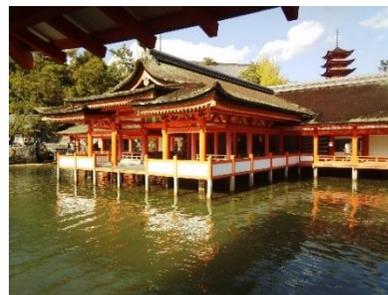
阿賀店



マリン通信を読んで下さっている皆様、お久しぶりです！阿賀店の和田です。実は先日、ちょっと遠出して**宮島**へ行って参りました。残念ながら紅葉はまだまだ見頃を迎えていない時期だったのですが、しっかりと楽しむことができましたよ～。宮島といえば学校行事でも何度か訪れているのですが、その時の宮島のイメージ

は『鹿』のみでした。可愛いなあと思いつつ近づくと、お土産のみじ饅頭が入った紙袋にガブリ！と噛みつかれ、食べられてしまいました(笑)。お弁当を食べようとするれば顔を突っ込もうとしてくるし…良い思い出です。

今回の目的は**厳島神社！**なかなかそうはいきませんが、出来ることなら毎月通いたいぐらい好きなんですよ。お寺や神社ってそれぞれ独特の雰囲気があって、思わず背筋が伸びるような、反対に心が落ち着くような気もします。運試しにおみくじを引くと、結果は『平』。待ち人……しばし待て。失せ物……川・海にある(探せ、だったかも)。いや神様、海とか無理でしょう！と内心ツッコんでいましたが、肝心の商売が『よし』と書いてあったので、なんとなく一安心。お賽銭を入れて、健康でいられますようにとお願ひしてまいりました。



三津田店

皆さん、こんにちは。マリン薬局三津田店の河野です。11月は暖かい日が続きましたが、後半から急に冷え込み、ようやく12月らしい気候になりましたね。気温の低下と乾燥でインフルエンザも増えてくると思うので、皆さん十分に注意して下さいね。そこで少し、インフルエンザについて説明します。インフルエンザは、インフルエンザウイルスによって起こる『**ウイルス性呼吸器感染症**』



です。世界中で、全年齢にみられる普遍的で最も頻度の高い重要な病気で、小児と高齢者で重症化しやすいとされています。流行の規模は一定ではありませんが、毎年冬季に流行がみられ、学級閉鎖の原因や、高齢者施設における施設内流行の原因にもなります。A・B・C型のインフルエンザウイルスがありますが、臨床的に問題になるのは、A型の2亜型(Aソ連型とA香港型)とB型です。2009年春には豚由来の新型インフルエンザウイルスA型が出現しました。このウイルスはその後世界中に広まり、WHO(世界保健機関)は6月にパンデミック(世界的大流行)の宣言をしました。日本においても同年の秋から冬にかけて、小児を中心に非常にたくさんの方が感染しました。インフルエンザはヒトの鼻咽頭で増殖したウイルスが、飛沫感染でほかのヒトの鼻咽頭の細胞に感染して発症します。いずれの型のインフルエンザも1～3日の潜伏期をへて、悪寒を伴う高熱、全身倦怠感(けんたいかん)を伴って急激に発症します。鼻汁、咳(せき)、咽頭痛などの呼吸器症状や、吐き気、嘔吐、下痢などの消化器症状を伴うことが多く、頭痛、関節痛も現れます。筋炎を起こすと筋肉痛が生じ、下肢の場合は歩行困難になることがあります。症状の程度・持続期間は、流行ウイルスの種類、年齢、過去の罹患状況などによってさまざまですが、合併症がない場合、1週間～10日以内に軽快します。発症した場合の重症度は、ウイルス側の要因(前回の流行からの期間やウイルスの変異の度合い)と、個体側の要因(感染歴や免疫状態)などによって決まります。乳幼児は初感染であることが多く、成人に比べて重症化しやすく、また高熱による熱性けいれんを起こすことがあります。細菌性の肺炎や中耳炎の合併があると高熱が続きます。やはり、罹ってしまうと怖いインフルエンザ。罹らないためにも外出時はマスクをして(最近ではマスクに吹き付けてウイルスや菌を付着しにくくするようなスプレーもあります。)手洗い、うがいをして、インフルエンザに罹らないように心掛けていきましょうね。